

特別企画：新潟県内企業のメインバンク調査（第9回）

第四銀行がシェア 35.84%で 9 年連続首位**～ 北越銀行はシェア 20%をさらに拡大 ～****はじめに**

2017 年も引き続き、地方銀行の大型再編が注目された 1 年だった。2 月には三重県を経営地盤とする第三銀行と三重銀行が経営統合を発表。3 月には近畿で関西アーバン銀行・近畿大阪銀行・みなと銀行の 3 行が、そして 4 月には新潟県を経営地盤とする第四銀行と北越銀行の 2 行がそれぞれ経営統合することを発表した。

北海道拓殖銀行の経営破たん以降、金融機関同士の経営統合・再編は大手銀行が中心となって行われてきた。しかし、近年は日本銀行のマイナス金利政策による貸出金利低下や人口減少のほか、フィンテック等の技術革新を通じた異業種の金融分野進出などにより、経営環境が大きく変わりつつある。

帝国データバンク新潟支店では、2017 年 10 月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」（約 147 万社収録、特殊法人・個人事業主含む）に収録されている企業がメインバンクと認識している金融機関について抽出し、集計・分析した。なお、同調査は 2016 年 12 月に続き 9 回目。

※ 本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有している企業概要データベース「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインと認識している実数とは異なる場合がある。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位と認識している金融機関をメインバンクとして集計した

調査結果の要旨

- 第四銀行がシェア 35.84%で 9 年連続トップ。2 位の北越銀行は前回から 0.22%シェアを拡大。上位 20 行は前回調査から順位変動なし
- 業種別では、全ての業種で 1 位・第四銀行、2 位・北越銀行、3 位・大光銀行の順。前回調査時に 6 業種でシェアを伸ばした北越銀行は、今回も 5 業種でシェアを伸ばした
- 売上規模別においても、第四銀行、北越銀行、大光銀行が上位を占める。第四銀行は、売上規模が大きくなるほどシェアが高くなる傾向に

1. 上位 20 行

新潟県内の企業がメインバンクとして認識している金融機関は、第四銀行が1万1650社、シェア35.84%となり、2009年の調査開始以降9年連続でトップとなった。2位に北越銀行（6579社、同20.24%）、3位には大光銀行（3825社、同11.77%）が続き、上位3行が全体に占める割合は約67.8%（前回調査時約67.7%）で、新潟県内における主要金融機関としての地位をしっかりと確保している。

新潟県外に本店を置く金融機関では、長野県長野市の八十二銀行（273社、シェア0.84%）、山形県山形市のきらやか銀行（164社、同0.50%）の2行が上位20行にランクインした。

シェアが増加した金融機関では、北越銀行（前回調査比+0.22%）がもっとも増加幅が大きく、新井信金（同+0.02%）、協栄信組（同+0.01%）などが続いた。

なお、全国の企業がメインバンクとして認識している金融機関のランキングでは、全国ベスト60に、第四銀行（22位、1万1894社、シェア0.81%）、北越銀行（55位、6810社、同0.46%）が入った。

新潟県上位20行

順位	金融機関名	本店所在地	2017年	シェア	シェア 増減	2016年	シェア	シェア 増減
			社数			社数		
1(1)	第四	新潟市	11,650	35.84%	0.00	11,752	35.83%	▲ 0.16
2(2)	北越	長岡市	6,579	20.24%	0.22	6,564	20.01%	0.22
3(3)	大光	長岡市	3,825	11.77%	▲ 0.06	3,879	11.83%	▲ 0.05
4(4)	新潟県信組	新潟市	1,558	4.79%	▲ 0.09	1,600	4.88%	▲ 0.01
5(5)	三条信金	三条市	1,172	3.61%	▲ 0.00	1,184	3.61%	0.05
6(6)	新潟信金	新潟市	858	2.64%	▲ 0.02	873	2.66%	▲ 0.05
7(7)	長岡信金	長岡市	785	2.41%	▲ 0.00	793	2.42%	0.08
8(8)	上越信金	上越市	682	2.10%	▲ 0.03	699	2.13%	▲ 0.02
9(9)	協栄信組	燕市	451	1.39%	0.01	451	1.38%	0.01
10(10)	新発田信金	新発田市	379	1.17%	▲ 0.02	389	1.19%	0.01
11(11)	村上信金	村上市	302	0.93%	▲ 0.01	308	0.94%	▲ 0.02
12(12)	柏崎信金	柏崎市	281	0.86%	▲ 0.01	288	0.88%	0.01
12(13)	新井信金	妙高市	281	0.86%	0.02	278	0.85%	▲ 0.01
14(14)	八十二	長野県長野市	273	0.84%	0.00	274	0.84%	▲ 0.01
15(15)	新潟大栄信組	燕市	243	0.75%	0.00	245	0.75%	▲ 0.01
16(16)	さくらの街信組	阿賀野市	233	0.72%	▲ 0.01	237	0.72%	0.01
17(17)	加茂信金	加茂市	226	0.70%	0.00	228	0.70%	0.01
18(18)	巻信組	新潟市	202	0.62%	▲ 0.01	208	0.63%	▲ 0.03
19(19)	きらやか	山形県山形市	164	0.50%	▲ 0.00	167	0.51%	▲ 0.01
20(20)	新栄信組	新潟市	159	0.49%	0.00	160	0.49%	▲ 0.01

※()内は前年順位

※シェア増減“0.00”の表記は、小数点第3位以下を参照して+/-を判定した

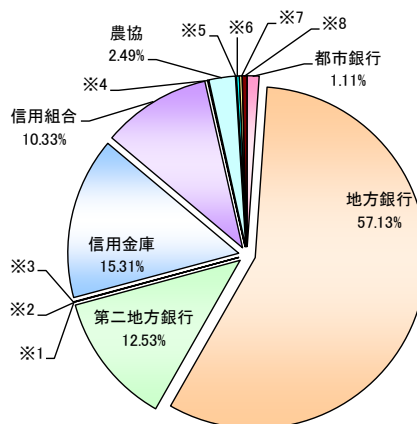
2. 業態別

業態でみると、地方銀行が57.13%と5割以上を占める。信用金庫が15.31%、第二地銀が12.53%、信用組合が10.33%と続いた。

【業態別件数】

組織区分	2017年 社数	構成比
都市銀行	361	1.11%
地方銀行	18,574	57.13%
第二地方銀行	4,074	12.53%
信託銀行	0	0.00%
外国銀行	0	0.00%
ネット銀行など新形態の銀行	15	0.05%
信用金庫	4,976	15.31%
信用組合	3,359	10.33%
労働金庫	23	0.07%
農協	810	2.49%
漁協	11	0.03%
政府系金融機関	87	0.27%
その他の金融機関	79	0.24%
不明・利用なし	141	0.43%
総計	32,369	99.57%
全件(未詳+総計)	32,510	100.00%

【業態別構成比(企業数ベース)】



※1: 信託銀行 0.00%
 ※2: 海外の銀行 0.00%
 ※3: 新形態(ネットなど)の銀行 0.05%
 ※4: 労働金庫 0.07%
 ※5: 漁協 0.03%
 ※6: 政府系金融機関 0.27%
 ※7: その他金融機関 0.24%
 ※8: 未詳

3. 業種別

業種別でみると、引き続き全ての業種において、1位・第四銀行、2位・北越銀行、3位・大光銀行の構図となっている。

各業種トップ10の金融機関をみると、前回調査において6業種でシェアを伸ばした北越銀行が、今回も5業種でシェアを伸ばした。

業種別上位10行

建設

順位	金融機関名	2017		2016	
		社数	シェア	社数	シェア
1 (1)	第四	3,318	34.65%	3,365	34.61%
2 (2)	北越	1,876	19.59%	1,874	19.28%
3 (3)	大光	1,257	13.13%	1,286	13.23%
4 (4)	新潟県信組	528	5.51%	545	5.61%
5 (5)	上越信金	315	3.29%	320	3.29%
6 (6)	新潟信金	270	2.82%	275	2.83%
7 (7)	長岡信金	227	2.37%	228	2.35%
8 (8)	三条信金	219	2.29%	223	2.29%
9 (9)	新発田信金	136	1.42%	143	1.47%
10 (10)	新潟大栄信組	121	1.26%	121	1.24%

製造

順位	金融機関名	2017		2016	
		社数	シェア	社数	シェア
1 (1)	第四	1,625	33.98%	1,633	33.91%
2 (2)	北越	880	18.40%	888	18.44%
3 (3)	大光	530	11.08%	541	11.23%
4 (4)	三条信金	390	8.16%	387	8.04%
5 (5)	新潟県信組	219	4.58%	221	4.59%
6 (6)	協栄信組	212	4.43%	210	4.36%
7 (7)	長岡信金	187	3.91%	190	3.95%
8 (8)	新潟信金	110	2.30%	111	2.30%
9 (9)	上越信金	65	1.36%	65	1.35%
10 (10)	柏崎信金	49	1.02%	50	1.04%

卸売

順位	金融機関名	2017		2016	
		社数	シェア	社数	シェア
1 (1)	第四	1,427	41.63%	1,466	41.90%
2 (2)	北越	807	23.54%	827	23.64%
3 (3)	大光	337	9.83%	345	9.86%
4 (4)	三条信金	163	4.75%	168	4.80%
5 (5)	新潟県信組	115	3.35%	117	3.34%
6 (6)	新潟信金	84	2.45%	78	2.23%
7 (7)	長岡信金	57	1.66%	57	1.63%
8 (8)	協栄信組	49	1.43%	47	1.34%
9 (9)	上越信金	37	1.08%	38	1.09%
10 (10)	八十二	31	0.90%	31	0.89%

小売

順位	金融機関名	2017		2016	
		社数	シェア	社数	シェア
1 (1)	第四	1,742	34.50%	1,783	34.63%
2 (2)	北越	1,023	20.26%	1,025	19.91%
3 (3)	大光	641	12.70%	645	12.53%
4 (4)	新潟県信組	319	6.32%	327	6.35%
5 (7)	三条信金	135	2.67%	134	2.60%
6 (5)	新潟信金	134	2.65%	140	2.72%
7 (6)	上越信金	131	2.59%	137	2.66%
8 (8)	長岡信金	121	2.40%	124	2.41%
9 (9)	新発田信金	74	1.47%	78	1.52%
10 (10)	新井信金	63	1.25%	62	1.20%

不動産

順位	金融機関名	2017		2016	
		社数	シェア	社数	シェア
1 (1)	第四	450	34.22%	452	33.96%
2 (2)	北越	298	22.66%	291	21.86%
3 (3)	大光	154	11.71%	159	11.95%
4 (4)	新潟信金	77	5.86%	80	6.01%
5 (5)	新潟県信組	66	5.02%	67	5.03%
6 (6)	三条信金	53	4.03%	57	4.28%
7 (7)	長岡信金	42	3.19%	44	3.31%
8 (8)	上越信金	15	1.14%	16	1.20%
9 (9)	柏崎信金	10	0.76%	10	0.75%
9 (9)	新栄信組	10	0.76%	10	0.75%

運輸・通信

順位	金融機関名	2017		2016	
		社数	シェア	社数	シェア
1 (1)	第四	271	36.47%	275	36.91%
2 (2)	北越	188	25.30%	187	25.10%
3 (3)	大光	75	10.09%	72	9.66%
4 (4)	新潟県信組	31	4.17%	32	4.30%
5 (5)	新潟信金	18	2.42%	19	2.55%
6 (6)	三条信金	17	2.29%	18	2.42%
7 (7)	みずほ	15	2.02%	15	2.01%
8 (8)	長岡信金	13	1.75%	13	1.74%
9 (9)	新発田信金	10	1.35%	9	1.21%
10 (9)	さくらの街信組	9	1.21%	9	1.21%

サービス

順位	金融機関名	2017		2016	
		社数	シェア	社数	シェア
1 (1)	第四	2,585	39.11%	2,564	39.02%
2 (2)	北越	1,393	21.07%	1,358	20.67%
3 (3)	大光	752	11.38%	755	11.49%
4 (4)	新潟県信組	264	3.99%	273	4.15%
5 (5)	三条信金	180	2.72%	183	2.78%
6 (6)	新潟信金	153	2.31%	158	2.40%
7 (7)	長岡信金	130	1.97%	129	1.96%
8 (8)	上越信金	109	1.65%	111	1.69%
9 (9)	新発田信金	69	1.04%	70	1.07%
10 (11)	新井信金	59	0.89%	55	0.84%

※ () 内は前年順位

4. 売上規模別

売上規模別では、第四銀行、北越銀行、大光銀行が上位を占める傾向は変わらず。ただし、「50億円以上」をみると、3位にみずほ銀行が食い込んでいる。

いずれの売上規模でもトップとなった第四銀行は、規模が大きくなるに伴いシェアも高くなる傾向にある。

売上規模別上位10行

5000万円未満

順位	金融機関名	2017		2016	
		社数	シェア	社数	シェア
1 (1)	第四	4,648	33.30%	4,785	33.58%
2 (2)	北越	2,607	18.67%	2,617	18.36%
3 (3)	大光	1,684	12.06%	1,725	12.11%
4 (4)	新潟県信組	755	5.41%	778	5.46%
5 (5)	三条信金	500	3.58%	507	3.56%
6 (6)	新潟信金	419	3.00%	436	3.06%
7 (7)	長岡信金	415	2.97%	416	2.92%
8 (8)	上越信金	348	2.49%	358	2.51%
9 (9)	協栄信組	217	1.55%	226	1.59%
10 (10)	新発田信金	165	1.18%	171	1.20%

5000万円以上1億円未満

順位	金融機関名	2017		2016	
		社数	シェア	社数	シェア
1 (1)	第四	2,035	33.67%	2,011	33.27%
2 (2)	北越	1,211	20.04%	1,190	19.69%
3 (3)	大光	784	12.97%	783	12.95%
4 (4)	新潟県信組	323	5.34%	326	5.39%
5 (5)	三条信金	237	3.92%	246	4.07%
6 (6)	新潟信金	166	2.75%	168	2.78%
7 (8)	上越信金	148	2.45%	148	2.45%
8 (7)	長岡信金	146	2.42%	153	2.53%
9 (10)	協栄信組	90	1.49%	85	1.41%
10 (9)	新発田信金	83	1.37%	89	1.47%

1億円以上5億円未満

順位	金融機関名	2017		2016	
		社数	シェア	社数	シェア
1 (1)	第四	3,190	36.28%	3,224	36.18%
2 (2)	北越	1,924	21.88%	1,947	21.85%
3 (3)	大光	1,078	12.26%	1,107	12.42%
4 (4)	新潟県信組	415	4.72%	428	4.80%
5 (5)	三条信金	331	3.76%	332	3.73%
6 (6)	新潟信金	226	2.57%	229	2.57%
7 (7)	長岡信金	191	2.17%	194	2.18%
8 (8)	上越信金	157	1.79%	161	1.81%
9 (9)	協栄信組	118	1.34%	116	1.30%
10 (10)	新発田信金	113	1.29%	109	1.22%

5億円以上10億円未満

順位	金融機関名	2017		2016	
		社数	シェア	社数	シェア
1 (1)	第四	716	45.66%	720	45.69%
2 (2)	北越	352	22.45%	353	22.40%
3 (3)	大光	152	9.69%	148	9.39%
4 (4)	三条信金	58	3.70%	55	3.49%
5 (5)	新潟県信組	48	3.06%	51	3.24%
6 (7)	新潟信金	23	1.47%	21	1.33%
6 (6)	長岡信金	23	1.47%	22	1.40%
8 (9)	八十二	18	1.15%	16	1.02%
9 (7)	上越信金	16	1.02%	21	1.33%
10 (9)	商工中金	15	0.96%	16	1.02%

10億円以上50億円未満

順位	金融機関名	2017		2016	
		社数	シェア	社数	シェア
1 (1)	第四	780	49.90%	793	49.44%
2 (2)	北越	376	24.06%	387	24.13%
3 (3)	大光	106	6.78%	106	6.61%
4 (4)	三条信金	36	2.30%	42	2.62%
5 (5)	みずほ	26	1.66%	25	1.56%
5 (7)	八十二	26	1.66%	24	1.50%
7 (6)	三井住友	19	1.22%	25	1.56%
8 (8)	新潟県信組	17	1.09%	17	1.06%
9 (11)	三菱東京UFJ	15	0.96%	14	0.87%
9 (11)	商工中金	15	0.96%	14	0.87%

50億円以上

順位	金融機関名	2017		2016	
		社数	シェア	社数	シェア
1 (1)	第四	213	50.47%	219	51.41%
2 (2)	北越	71	16.82%	70	16.43%
3 (3)	みずほ	19	4.50%	18	4.23%
4 (4)	新潟県信連	18	4.27%	16	3.76%
5 (5)	三菱東京UFJ	12	2.84%	12	2.82%
6 (6)	大光	11	2.61%	10	2.35%
7 (6)	全信組連	10	2.37%	10	2.35%
8 (8)	信金中央金庫	9	2.13%	9	2.11%
9 (9)	三井住友	7	1.66%	5	1.17%
10 (10)	八十二	4	0.95%	4	0.94%

※ () 内は前年順位

5. まとめ

2009年から開始した当調査では、一貫して第四、北越、大光の3行で60%台後半を維持しており、その存在感は大きい。今回もその傾向に変わりはなく、全体の67.8%の企業が同3行をメインバンクと認識している現状が明らかになった。

新潟県は地銀が3行、信用金庫、信用組合を加えた金融機関数が全国的にも多い地域。それだけに厳しい競争環境にあったが、2016年に導入されたマイナス金利政策で市場金利が低下、県内

金融機関の収益状況はさらに厳しいものになっている。

こうした中、新潟県内地銀最大手の第四と2位の北越が2017年4月に経営統合に向け基本合意した。12月15日に公正取引委員会が両行の統合計画を承認、2018年10月の経営統合に向け具体的な協議を進める。同一県内で1、2位の地銀統合が承認されたのは初めての事例ということで全国の地銀再編の動きにも影響を与えるものとみられる。両行の統合が、景況感の改善が進む新潟県内企業、県民にとってサービス向上などのプラスになることが期待される。

※参考 北陸地区の企業におけるメインバンク状況

北陸地区（新潟県、富山県、石川県、福井県）の企業がメインバンクとして認識している金融機関をみると、上位10行の順位に変化はなく、北陸銀行が1万2131社（シェア15.43%）でトップ。

新潟県内の金融機関では、2位に第四銀行（シェア14.83%）、5位に北越銀行（同8.37%）、6位に大光銀行（同4.86%）、9位に新潟県信組（同1.98%）が入った。

北陸地区上位10行

順位	金融機関名	本店所在地	2017年		シェア 増減	2016年		シェア 増減
			社数	北陸シェア		社数	北陸シェア	
1(1)	北陸	富山県富山市	12,131	15.43%	0.10	12,125	15.32%	0.05
2(2)	第四	新潟県新潟市	11,662	14.83%	▲ 0.04	11,765	14.87%	▲ 0.09
3(3)	北国	石川県金沢市	8,824	11.22%	0.18	8,738	11.04%	0.14
4(4)	福井	福井県福井市	6,965	8.86%	▲ 0.06	7,057	8.92%	0.01
5(5)	北越	新潟県長岡市	6,580	8.37%	0.07	6,564	8.29%	0.08
6(6)	大光	新潟県長岡市	3,825	4.86%	▲ 0.04	3,879	4.90%	▲ 0.03
7(7)	福井信金	福井県福井市	2,702	3.44%	▲ 0.05	2,761	3.49%	0.46
8(8)	富山第一	富山県富山市	2,223	2.83%	0.02	2,219	2.80%	0.01
9(9)	新潟県信組	新潟県新潟市	1,558	1.98%	▲ 0.04	1,600	2.02%	▲ 0.01
10(10)	金沢信金	石川県金沢市	1,441	1.83%	▲ 0.04	1,479	1.87%	▲ 0.05

※()内は前年順位

※シェア増減“0.00”の表記は、小数点第3位以下を参照して+/-を判定した

また、上記の10行の全国企業におけるシェア、全国順位、各地域別の社数は以下の通り。

金融機関名	本店所在地	合計 (全国)			北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州
		社数	シェア	全国順位									
北陸	富山県富山市	15,294	1.04%	16	2,019	2	492	12,131	335	311	2		2
第四	新潟県新潟市	11,894	0.81%	22	52	58	99	11,662	21	2			
北国	石川県金沢市	8,928	0.61%	35		1	29	8,824	17	55	1		1
福井	福井県福井市	7,074	0.48%	49			32	6,965	12	64	1		
北越	新潟県長岡市	6,810	0.46%	55	1	1	221	6,580	6	1			
大光	新潟県長岡市	4,191	0.29%	88			366	3,825					
福井信金	福井県福井市	2,705	0.18%	115			3	2,702					
富山第一	富山県富山市	2,308	0.16%	130		1	5	2,223	67	11			1
新潟県信組	新潟県新潟市	1,558	0.11%	168				1,558					
金沢信金	石川県金沢市	1,445	0.10%	182			4	1,441					

【 内容に関する問い合わせ先 】

（株）帝国データバンク 新潟支店 岩瀬・佐藤

TEL 025-245-5606 FAX 025-241-9019

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。